

ヨーロッパ ナショナル・トラストの旅

イタリア編

～文化遺産と芸術をめぐる～



Villa del Balbianello (NT)
(コモ湖畔の別荘)

アメニティ2000協会は7回の英国ナショナル・トラストの旅につづいてヨーロッパの芸術とナショナル・トラストを訪ねる旅を企画しました。第1回はイタリアです。長い歴史、文化のイタリアには多くの世界遺産があり、またナショナル・トラスト運動も40年の実績があります。長らくヨーロッパの中心だった文化の遺産を見に行きましょう。

- ◇旅行期間 2016年6月27日(月)～7月5日(火)
- ◇募集人員 25名(定員になり次第締切らせていただきます)
- ◇最小催行人員 15名
- ◇費用 会員398,000円(一般は10,000円プラス)

- ・別途 空港税、オイルサーチャージ等の費用が必要です
- ・イタリア・ナショナル・トラストに入会していただきます
1人：39ユーロ、夫婦：60ユーロ(予定)
- ・一人部屋は96,000円追加となります

- ◇旅行企画 認定特定非営利活動法人アメニティ2000協会
- ◇旅行主催 (株)JTBビジネストラベルソリューションズ
(国土交通大臣登録旅行業第1571号 日本旅行業協会正会員)

《申込要項》

＜申込み手続き等＞

- *ご予約いただきますと(株)JTBビジネストラベルソリューションズより案内書および旅行条件書が送付されますので、それによりお申込みください。
- その後の手続き(旅行代金の授受など)は(株)JTBビジネストラベルソリューションズが行います。
- *その他旅行条件に関してはJTBビジネストラベルソリューションズ旅行業約款(主催旅行契約)によります。

＜留意事項＞

- *宿泊ホテルは原則4つ星クラス。4つ星ホテルのない場所についてはそれに準じるホテルを使用する予定です。
- *成田からの発着便についてもご用意いたします。
往路 成田発10:30 (KL862) アムステルダムで合流
復路 アムステルダム発14:40 (KL861) 成田着8:30
- *日本からは添乗員、現地ではガイドが同行いたします。
- *訪問先については変更の可能性があることをご了承ください。



ジョットのフレスコ壁画
(スクロヴェーニ礼拝堂)



初期キリスト教会建築 (W)
(ラヴェンナ)



ル・ヴェイニヤール・ホテル
(シエナ)

＜ご予約・お問い合わせ先＞

認定特定非営利活動法人アメニティ2000協会
西宮市北昭和町3-20 清水
TEL/FAX 0798-65-4303
E-mail soshisha@f6.dion.ne.jp
URL <http://amenity2000.la.coocan.jp/>

日程表

日次	月日 (曜)	発着地/滞在	主なスケジュール 訪問予定	食事
1	2016年 6月27日 (月)	関西空港 10:25 発 (KLM868 便) ローマ空港 19:50 着	空路：アムステルダムを経てローマへ <ローマ泊>	昼：機 夕：一
2	6月28日 (火)	ローマ チボリ	ローマ (バチカン市国) 観光 Wバチカン美術館 Wシスティーナ礼拝堂、 Wサンピエトロ寺院 チボリ観光 Wデステ家別荘 NTParco Villa Gregoriana <ローマ泊>	朝：ホ 昼：一 夕：一
3	6月29日 (水)	アッシジ シエナ	アッシジ観光 W聖フランチェスコ聖堂 (ジオット壁画) 等 Wシエナ観光 カンポ広場等街並み散策 <シエナ泊>	朝：ホ 昼：レ 夕：レ
4	6月30日 (木)	サン・ジミニャーノ フィレンツェ	Wサン・ジミニャーノ 散策 NTCasa e Torre Campatelli Wフィレンツェ観光 Wウフィツィ美術館、 カマルド美術館 フ・アンジェリコの「受胎告知」 <シエナ泊>	朝：ホ 昼：レ 夕：レ
5	7月1日 (金)	ラヴェンナ パドヴァ	ラヴェンナ観光 W初期キリスト教建築群 パドヴァ観光 「ジオット壁画」(スクロヴェーニ礼拝堂) NTVilla dei Vescovi <ヴェローナ泊>	朝：ホ 昼：一 夕：レ
6	7月2日 (土)	ヴェローナ ミラノ	Wヴェローナ観光 円形闘技場、中世城カステルヴェッキオ等 ミラノ観光 NTVilla Necchi Campiglio ドウオモ、スカラ座、 ダヴィンチの「最後の晩餐」(予定) <ミラノ泊>	朝：ホ 昼：一 夕：一
7	7月3日 (日)	コモ湖 ルガノ湖	ミラノ郊外 (コモ湖周辺) 観光 NTVilla del Balbianello (コモ湖) NTVilla della Porta Bozzola NTVilla Fogazzaro Roi (ルガノ湖) さよならパーティー <ミラノ泊>	朝：ホ 昼：一 夕：レ
8	7月4日 (月)	ミラノ発 アムステルダム 14:40 発 (KL867 便)	ホテルから空港へ 空路：アムステルダムを経て関西へ <機中泊>	朝：ホ 昼：一 夕：機
9	7月5日 (火)	関西空港 08:35 着		朝：機

訪問地解説

- * **パチカン美術館** 歴代ローマ法王の収集品を展示。キリスト教美術に限らず膨大な所蔵品をもつ。
- * **システィーナ礼拝堂** ミケランジェロの天井画「創世記」と祭壇壁画「最後の審判」が有名。
- * **サンピエトロ寺院** カトリック教会の総本山。世界最大の教会建築。1626年に完成。
- + **チボリ** 古代ローマ時代から知られた保養地。貴族たちの別荘が多く、芸術家の題材ともなった。
- * **デステ家別荘** 16世紀にエステ家が改築した豪華な別荘。噴水を多用した庭園は16世紀の代表作。高台からの眺望もすばらしい。
- * **Parco Villa Gregoriana** 法王グレゴリオ14世が洪水で崩壊したアニエーネ川の河川敷を復興するために造った公園。FAIが復元して2005年に公開。自然とギリシャ風神殿、滝も見もの。
- + **アッシジ** フランシス会を創設した聖フランチェスコの生まれた町。カトリック教会の巡礼地。
- * **聖フランシスコ聖堂** 聖フランチェスコの遺蹟をしのぶ教会。13世紀に完成。内部にはジオットのフレスコ画「聖フランチェスコ伝」などが描かれている。
- + **シエナ** 6世紀から交易の拠点として繁栄した。12世紀から15世紀にかけてできたゴシック風外観の中世そのものの町並みが残っている。1240年にはシエナ大学が設立された。
- * **カンポ広場** 広場としてはヨーロッパ最大級。景観を守るために厳しい規制がしかれている。
- * **サンジミニャーノ** 交通の要衝として栄えた町。12世紀から14世紀にかけて貴族が富を誇示するために競って塔を建て、一時は72棟もあった。現在は14棟が残っている。
- * **Casa e Torre Campatelli** サンジミニャーノに現存する塔のうち最も優雅で原形をとどめている塔。当時の所有者コッピ家では1階は商売、上部は住居、最上階は見張所として使用した。
- + **フィレンツェ** 中世に毛織物と金融業で繁栄した町。とくに15世紀メディチ家統治の時代にはルネサンス文化の中心地となった。
- * **ウフィツィ美術館** イタリア国内で最大の美術館。イタリアルネサンスの美術の宝庫である。
- * **サンマルコ美術館** コシモ・メディチによって建てられた修道院が現在美術館となっている。フラ・アンジェリコの作品が多く、とくに「受胎告知」は見もの。
- + **ラヴェンナ** 古代ローマの軍港として、ゴート王国や東ローマ帝国の首都として栄えた。
- * **初期キリスト教建築群** 5世紀初頭から6世紀末にかけて建設された初期キリスト教の聖堂等。8世紀末にラヴェンナが政治的重要性を失ったため、建て替えもなく往時の姿を残している。
- + **パドヴァ** 古代ローマ時代より以前から町として存在していた。パドヴァ大学も有名。
- * **ジオットのフレスコ画 (スクロヴェーニ礼拝堂)** 西洋美術の傑作といわれる「マリア伝」「キリスト伝」が描かれている。礼拝堂は14世紀初めに建てられたもの。
- * **Villa dei Vescovi** 1540年ごろ (ルネサンス期) パドヴァの僧正のカントリーハウスとして建てられた。オリジナルのフレスコ画の装飾もそのまま残っている。
- + **ヴェローナ** ルネサンス期に商業と文化の中心地として栄えた。旧市街には中世の町並みやローマ時代の遺蹟も残っていて、円形闘技場の跡が有名である。
- + **ミラノ** イタリア第2の大都市。14~16世紀のミラノ公国の時代に繁栄した。現在は繊維、化学やその他の重・軽工業が盛んで、イタリアの金融界の中心でもある。
- * **Villa Necchi Campiglio** 20世紀前半のミラノ上流階級の生活を目の当たりにする邸宅。20世紀のアートと18世紀の装飾アートのコレクションも展示されている。
- * **ダヴィンチの「最後の晩餐」** ダヴィンチの傑作。サンタマリア・デッレ・グラツィエ教会 (15世紀半ばに完成したカトリック教会) の敷地内の修道院食堂の壁をかざっている。
- * **Villa del Balbianello** コモ湖に突き出した岬の別荘。18世紀末に建てられた。館も庭も湖の景色を存分にとりこんでいる。室内は20世紀末の装飾とアート作品で飾られている。
- * **Villa della Porta Bozzola** 建物は16世紀築だが18世紀に貴族の別荘として改築された。ロココ風の豪華な内装、壮麗な階段状の庭園などと共に納屋、厩なども残っている。
- * **Villa Fogazzaro Roi** 小説家フォガツァーロ(1842~1911)の家。代表作「小さな過去の世界」はここで執筆された。

(注記) NT ナショナル・トラストのプロパティ、W 世界遺産 2015.12.20 現在
 (注意) 標記日程は、航空会社などの都合により変更になる場合がございます。予めご了承下さい。
 (食事) ホ：ホテル内レストラン、レ：市内レストラン、機：機内食、一：食事なし